

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

| | | |
|---------|--|---------|
| 学 校 名 | 美濃加茂市立蜂屋小学校 | |
| 実 施 期 間 | 平成26年11月9日（日）～11月29日（土） | |
| 実 施 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月 9日（日） 蜂屋地区文化祭参加 ・ 11月11日（火） 「蜂屋小いのちの日」 瑞林寺コンサート ・ 11月13日（木） 「ぶんぶん」による読み聞かせ ・ 11月14日（金） 「蜂屋柿づくり（皮むき作業）」いもパーティー ・ 11月29日（土） 家族参観日「わくわくサイエンスDAY」の実施 | |
| 実 施 内 容 | 学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | |
| 来 校 者 数 | 保護者 約350人 | 計 約550人 |
| | 地域関係者 約200人 <small>（中学生、保育園親子、その他一般）</small> | |
| 実 施 状 況 | <p>① 「蜂屋地区文化祭」参加 各学年の書写、絵画、工作、俳句作品とクラブ作品を展示した。ステージ発表では、4年生が「団結」を核にこれまで練習を重ねてきた合唱を発表し、その成果を地域に伝えた。</p> <p>② 「瑞林寺コンサート」とほほえみ参観日 5年生が総合的な学習の一環として、瑞林寺でこれまで地域を支えてくださったお年寄りとのふれあいの会を開催した。昔の遊びをしたり、お年寄りから話を聞いたりした後で、我がふるさとのすばらしさを実感しながら、交流している福島県飯舘村の仲間へ思いをはせ「ふるさと」等の合唱を披露した。 また、全学級が命に関わる授業（道徳や特別活動）を保護者に公開し、自他の命の大切さを実感させた。</p> <p>③ 「ぶんぶん」による読み聞かせ 保護者や地域の読み聞かせボランティア「ぶんぶん」の方々に、全学級が朝読書の時間に読み聞かせをしていただいた後、感想交流を行った。今年度は、父親の出場ということで「おやじぶんぶん」も発足した。</p> <p>④ 「蜂屋柿づくり（皮むき作業）」「いもパーティー」の実施 堂上蜂屋柿は1000年の伝統を誇る蜂屋地区の特産品である。蜂屋柿振興会の会長さんをはじめ6名の方に、蜂屋柿の歴史の話や皮むきの手ほどきをしていただきながら、3年生、5年生、6年生が皮むき作業や硫黄での燻蒸の体験をした。 1年生は、地域の畑をお借りし収穫したサツマイモを使って芋きんとん作りを体験した。特別支援学校に通う児童を迎え、共に芋きんとんを作りながら居住地交流も同時に行った。</p> <p>④ 「わくわくサイエンスDAY」（家族参観日）の実施</p> | |

| | |
|---------------|--|
| | <p>今年度で11年目を迎えるサイエンスDAYは、科学に親しむとともに、親子のふれあいの大切さを体感し、この行事を支えてくださっている関係機関やPTA役員、中学生等への感謝の思いを育てる機会にもなっている。</p> <p>また、近隣の二つの保育園（蜂屋保育園と明応保育園）にも案内文書を出し、小学校入学を前にして、本校の教育方針や活動にふれていただく機会にもなっている。中学生のボランティア協力者の数も毎年定着し、今年は西中学校と双葉中学校の両校から20名の参加があった。</p> <p>関係機関の協力も定着している。今年も、加茂高校（7名）、加茂農林高校（5名）関西電力（株）（3名）、（株）ヤガミ（2名）の4つの関係機関にショップを開催していただいた。</p> <p>児童は、24のショップから2種類を選択し、低中高ごとにグループに分かれて各ショップを回り、科学実験や科学的な考え方や力を応用した作品づくりを楽しみ、保護者も共にショップ巡りを行った。</p> <p>午後からは、ノーベル物理学賞の受賞につながった「青色LED」について、川辺中教頭先生に科学実験等の体験を行っていただいた。</p> |
| <p>成果及び課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が文化祭に出品したり、合唱を披露したりすることで、文化祭を楽しみにしているという地域の方々の話や、たくさんの方が会場に足を運んでくださるとい主催者の方々の話を聞く。休日の開催で、引率や片付け等、ボランティア出勤になるが、作品や発表を通して学校教育への理解を深めていただく機会にもなっているので継続させたい。 ・今年度初めて開催した「瑞林寺コンサート」は出席して下さった30名ほどの高齢者の方々から「話ができて、とても楽しかった。」「懐かしい歌を歌ってくれたので、昔を思い出した。」「歌が上手で、何度も練習したことが分かった。涙が出そうだった。」などの素朴な感想をいただけた。子どもたちも笑顔で地域のお年寄りと交流を楽しみ、「いのちの日」にふさわしい温かい時間を共有することができた。 ・「ぶんぶん」の方々による読み聞かせも、今年で5年目となる。メンバーの方々の顔や名前も覚え、読み聞かせをしていただいた後の感想交流も活発になってきた。「おやじぶんぶん」では、父親の出場の大切さを実感した。 ・蜂屋柿作りは、振興会の方々の丁寧な指導の下、蜂屋小の伝統になっている。保護者からは、地域を知るよい機会であると共に地域の方々とふれあうよい機会になるので今後も継続してほしいという声が聞かれる。振興会の指導者の方々からは、蜂屋柿の歴史と伝統的な作り方や生産している人たちの願いや工夫を知ってもらいよい機会として、今後も協力をしていきたいとの話をいただいている。 ・いもパーティーを通して、特別支援学校に通う児童と居住地交流をすることができた。今回初めて顔を合わせた児童も多く、これを機に交流を継続させたい。近隣の畑をお借りして栽培したが、継続的に世話をすることが難しく、地域の方の力に頼るところが大きかった。感謝の気持ちをしっかりと伝えていきたい。 ・サイエンスは、土曜日の参観日ということで、ほとんどの保護者の参加があり、児童と一緒に楽しく科学実験等の体験をする中で、本校の教育活動の方針等を理解していただけた。特に、父親の参加が年々増加してきているのは喜ばしいことである。 ・関係機関との連携も着実に定着し、深まってきており、今年度は、PTA本部役員の方々に福島子どもたちを応援する「チョコボ」を販売していただき、本校が飯館村子ども達と交流をしていることについても知っていただけた。 |

